

## 令和2年度 第3回浦安市文化財審議会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和3年3月24日（水） 午前10時～12時15分
- 2 開催場所 郷土博物館 視聴覚室
- 3 出席者  
（委員）菊池眞太郎委員長、大塚三枝子副委員長、明保治男委員、潁原澄子委員、大村洋子委員、森田信雄委員、軍司裕昭委員  
（事務局）鈴木教育長、八田生涯学習部長、島崎生涯学習部次長、金子館長、島村副主幹、林主任学芸員、袖山（記録）  
（傍聴人）1名
- 4 議 事  
報 告 令和2年度 本市の文化財保護の取組み状況について  
その他 令和3年度 浦安市文化財審議会の運営について  
視 察 豊受神社大銀杏
- 5 会議経過  
会議に先立ち、菊池委員長の挨拶後、教育委員会を代表して鈴木教育長があいさつを行った。

### 報告 令和2年度 本市の文化財保護の取組について

#### （1）郷土博物館における新型コロナウイルスの影響による対応について

質疑について、特になし。

#### （2）郷土博物館・文化財住宅における事業報告について

配布資料に基づき、事務局より説明した。  
主な質疑・応答については、下記のとおり。

（委 員）「ふるさと作品展」について、このコロナ禍で実施もたいへんだったと思うが、できる範囲でよく行われたと思う。それぞれの作品を審査された方の講評を読ませてもらったが、児童生徒の努力に対し、きちんと心のこもった評価がなされており感心させられた。

#### （3）豊受神社大銀杏樹勢回復治療業務報告について

配布資料に基づき、事務局より説明した。  
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員長) 資料に年2回の定期観察を行ったとあるが、今後毎年2回の定期観察を行うのか。樹木医に対する報償などはどのように対応するのか。
- (事務局) 去年の文化財審議会において、市としても定期的に観察を行い管理していくことが必要というご意見をいただいた。葉の多い時期と、葉が少なくなった時期を選び、神社の関係者や樹木医と年2回の目視による定期観察を必ず行っていく。定期観察は、博物館の事業として、樹木医に報償費を支払い行っている「街路樹観察会」の中で行う。
- (委員) 豊受神社の大銀杏以外にも市の天然記念物はあるのか。
- (事務局) 豊受神社の大銀杏の一件のみである。
- (委員) 天然記念物の保存には苦労もあると思うが、枝が風で倒れるなど、危険な部分があるという印象もある。保存していくうえで、そういった危険性については十分に留意してほしい。

#### (4) 文化財住宅の修繕について

配布資料に基づき、事務局より説明した。  
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員長) 今後も補修すべき箇所が出てくるとは思うが、旧大塚家住宅の下見板などは人為的に破損されたものではなく、経年劣化なのか。
- (事務局) 経年劣化で割れたものである。定期的に観察を行いながら、軽微なものは都度補修をし、大規模なものは審議会でも相談をさせていただきながら進めていきたい。
- (委員) 旧大塚家住宅の雨戸の補修については、下に新しく木を埋めたということでもいいのか。下見板はどのように補修しているのか。
- (事務局) 雨戸は、下の空いているところに埋め木を行った。下見板は樹脂で接着をしている。
- (委員) 軽微な補修については都度やっていかなければならないが、こういった補修方法は技術革新があるため、何年度に行われた補修であるかということをしちゃんと記録し、その経年の変化を観察していくとよいと思う。

#### その他 令和3年度以降の浦安市文化財審議会の運営について

配布資料に基づき、事務局より説明した。  
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員長) 今後、文化財のことは文化財審議会、博物館のことは博物館協議会で検討していくという考え方でよいか。
- (事務局) それぞれの法律に基づき、それぞれの分担による審議をお願いしたい。
- (委員) 法律に基づいた運営であるということを丁寧に説明していくことが大事であると思う。
- (委員) 今まで博物館と文化財が一体的に利用され、文化財審議会と博物館協議会

が一体となっている良さもあったと思う。文化財住宅は博物館のハブとしても機能していくところもあると思うので、2つの委員会で連携・情報交換をしつつ、協力していくような体制にしていきたい。

(事務局) 博物館のリニューアルに際し、埋め立て事業以降の展示の充実を図る一方、漁師町時代を中心とした文化財をきちんと活用していくことも、博物館の両輪の事業である。両方の視点で2つの委員会を運営していかなければならないと考えている。文化財・史跡等を市民に広めていくためにも、博物館と文化財住宅との連携や、2つの委員会により運営を充実させていきたい。

(委員) 博物館では今後、工業地帯の発展に関する知見や、新しい歴史というものをより積極的に扱うということで、そういった歴史もあと数十年たつ頃には文化財的な価値を持つものになると思うので、2つの委員会で協力していけたらと思う。

#### ■ 次回の会議

次年度、令和3年度第1回浦安市文化財審議会は、6月を予定。

以上をもって、令和2年度第3回浦安市文化財審議会は、閉会した。